

金沢マラソンに参加する 障害ランナーの特徴と大会評価

北陸学院大学 社会学部

調査の目的、内容(報告概要)

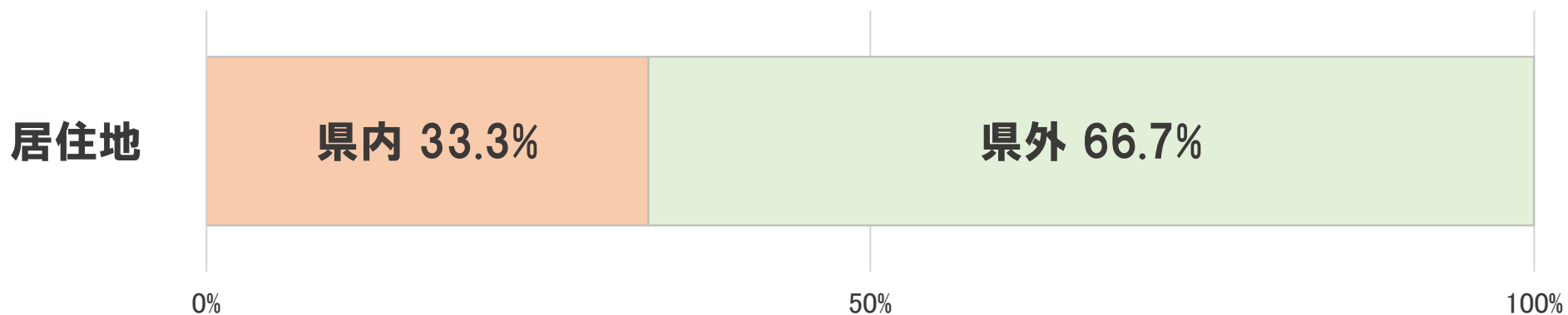
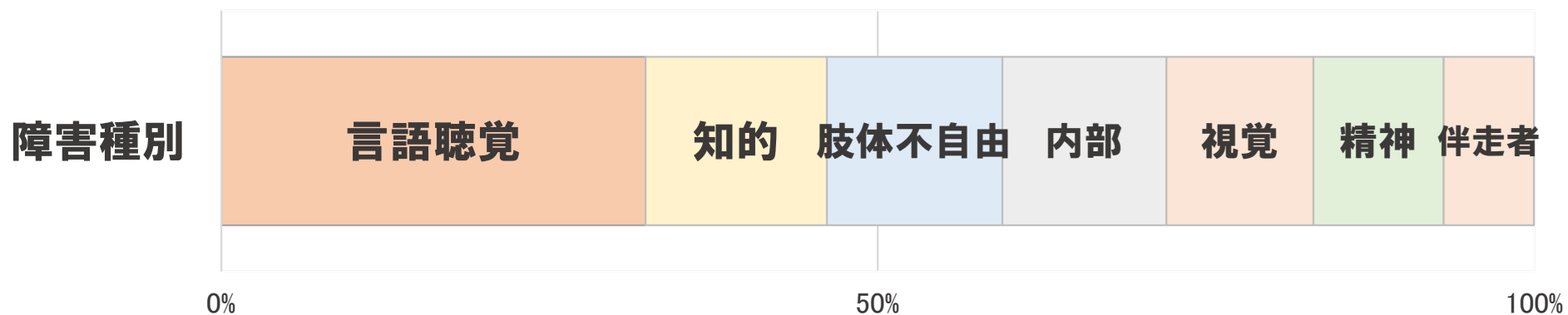
目的:障害ランナーの特徴・ニーズと、大会評価を明らかにする

調査票は以下の内容で構成

(2025年大会を中心に、過去の大会の結果もあわせて示す)

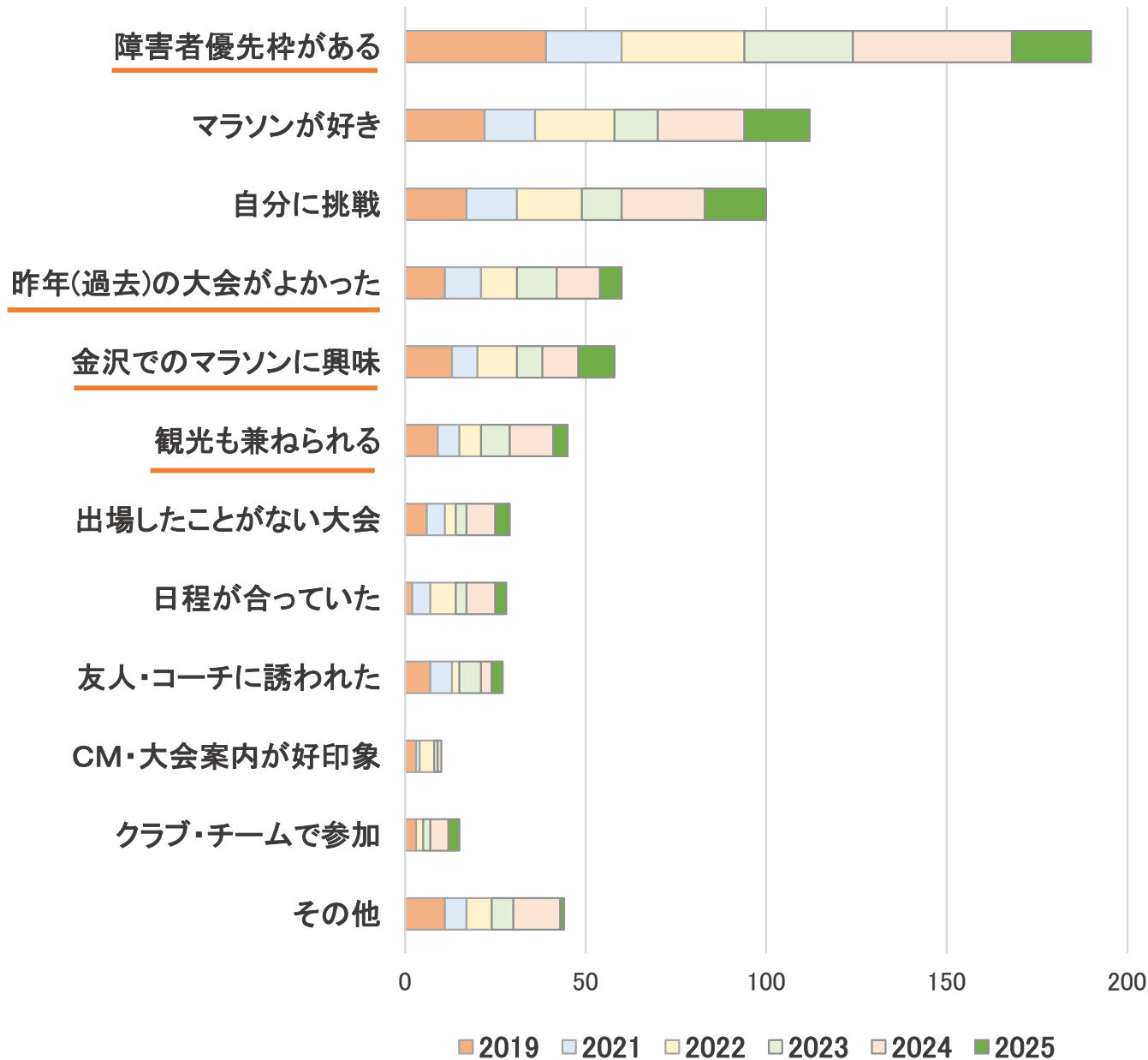
- **参加する障害ランナーの特徴**
- **障害対応、大会運営に関する評価と要望**
- **自由記述コメント**

回答者(2019-2025)の障害種別、居住地



- 障害は多様で、
- 県外者が多い → **だれもが参加できる金沢マラソン**
障害対応・サポートの継続、蓄積

障害ランナーの参加理由



「**障害者優先枠**」が最も多い



優先枠の存在意義は大きい
「一般枠」とを本人が選択できる形が
一人ひとりのニーズを受けとめ

「**過去の大会がよかった**」

「**金沢**」「**観光**」も意識されている



障害のある人も参加しやすい大会
金沢でのマラソン参加を楽しむ

※6割以上がリピーター

金沢マラソンの障害ランナー対応

- エントリー時の優先枠
- (前々日、前日の)専用受付設置
手話通訳等スタッフ配置
- スタート会場多目的スペース設置
- 手話通訳の配置
- 文字・図記号の表示
- 手荷物置き場の工夫
- フィニッシュ会場多目的スペース設置、スタッフ配置



障害ランナーの評価（2025大会の回答の一部）

障害ランナーの金沢マラソンに対する全体的な評価・満足度は高い
（受け付け・説明・案内・誘導・荷物管理と受渡しなど）

「障害があっても何ひとつ心配なく参加できる」

「受付も大会当日もとても対応が良かった」

「とても対応がよい、前からよくなってきた」

「障害ランナー対応は助かる。これがあるから金沢マラソンに参加している」

2017年大会以来、調査結果を大会組織委員会と共有・対応を重ねてきた

障害ランナーの評価（参考：2024・2023大会の回答）

- 多目的スペースの確保など、共生社会の観点からも金沢マラソンはまた出場したいと思える大会。また来年も参加する。
- 金沢マラソンほど障害者に配慮した大会はない、今後も続けていただきたい
- 着がえスペースなど他の大会にはない取り組み、選ばれる大会の一つだと確信している
- いろいろな大会に参加してきたが障害者に対する配慮が一番手厚かった、今回のような取り組みがあるならまた参加したい
- 多目的スペースが素晴らしかった。案内してくれたスタッフもとてもていねいだった。障害者に優しい大会。
- 障害者枠でいくつかのマラソン大会に参加したが、一番よかった。

障害ランナーの要望（2025大会の回答の一部）

一部で細かい要望等もみられた

- **視覚障害ランナーへの安全配慮**
- **障害特性に合わせたエントリー方法**
- **給食ステーションでの障害別対応**
- **宿泊先との移動のバリアフリーや防災対応**

→大会全体の評価がよかったからこそ示された

→今後、可能な範囲で検討

障害ランナー調査まとめ

- 障害ランナーのニーズは潜在化しがち（あきらめも含め）
- スポーツ(ここではマラソン)の本質的な部分ではないものの、サポートが必要な部分
- 対象となるのは全体の中のごく一部でも可能な範囲で対応を工夫・継続

→障害ランナーを含め、様々な事情がある人たちに配慮した運営・対応は、誰もが参加できる金沢マラソンの特徴の一つ

→「共生社会」、「スポーツを通じた共生」につながる、当地域の代表的なスポーツイベントへ

ありがとうございました。